



② セットアップ

中居康展

筑波大学医学医療系 脳神経外科 講師

POINT

- 1 脳血管内治療は、局所麻酔だけでなく全身麻酔でも施行される「手術」であることを認識しましょう。
- 2 血管造影用テーブルの移動やCアームなどの干渉に備えて、点滴ライン・ドレナージチューブの取り回しを工夫しましょう。
- 3 血管内治療に必要なヘパリン化生理食塩水の持続灌流ラインを、気泡の混入なく確実にセットアップできるようにしましょう。

うめ先輩！
脳血管内治療ってどんな治療なんですか？

カテ室で何を準備したらいいかさっぱりわかりません

うめ先輩
初めてだからわからなくて当たり前！
カテ室看護なんてそんなに勉強してないでしょ？

でも脳って複雑だし患者さんの命に関わる疾患ばかりですよね緊急の治療も多いそうだしのんびり屋の私にできるかなあ……

あいちゃん
心配しないで大丈夫！
今からカテ室に行ったつもりになるくらいみっちり予習してもらおうからね

はいっ！

脳血管内治療は開頭するより**侵襲は少ない**けど基本的に手術と同じで決して安全な手技ではないんだ

えっ！カテ室での治療なのに**手術**なんですか？

治療の前も・途中も・後も油断禁物なんだ！

局所麻酔で施行される心カテと違って脳血管内治療では疾患によっては**全身麻酔**で治療を行うケースもある

危険な合併症が起ることもあるよ

脳血管内治療の危険な合併症
脳塞栓 脳腫脹 脳出血

● 脳血管内治療室のレイアウト

脳血管内治療を行うためには血管造影装置が必須であり、その取り回しを中心に、機材のレイアウトを行います。Cアームの回転や移動があるため、その動きを妨げない位置に使用機材をレイアウトする必要があります。図1に脳血管内治療室のレイアウト例を示します。全身麻酔の場合には麻酔器と麻酔回路の取り回しも重要であり、麻酔回路を長くするなどの工夫が必要です。血管造影用テーブルが回転できる機種であれば、麻酔器の動線が短くできるので導入に便利です(図2)。成人の全身麻酔症例では、患者の左側かつモニターの後ろ側に麻酔器を配置することが多いです。



図2 全身麻酔の導入
血管造影用テーブルがローテーションして、麻酔導入時にCアームと干渉しないようになっています。

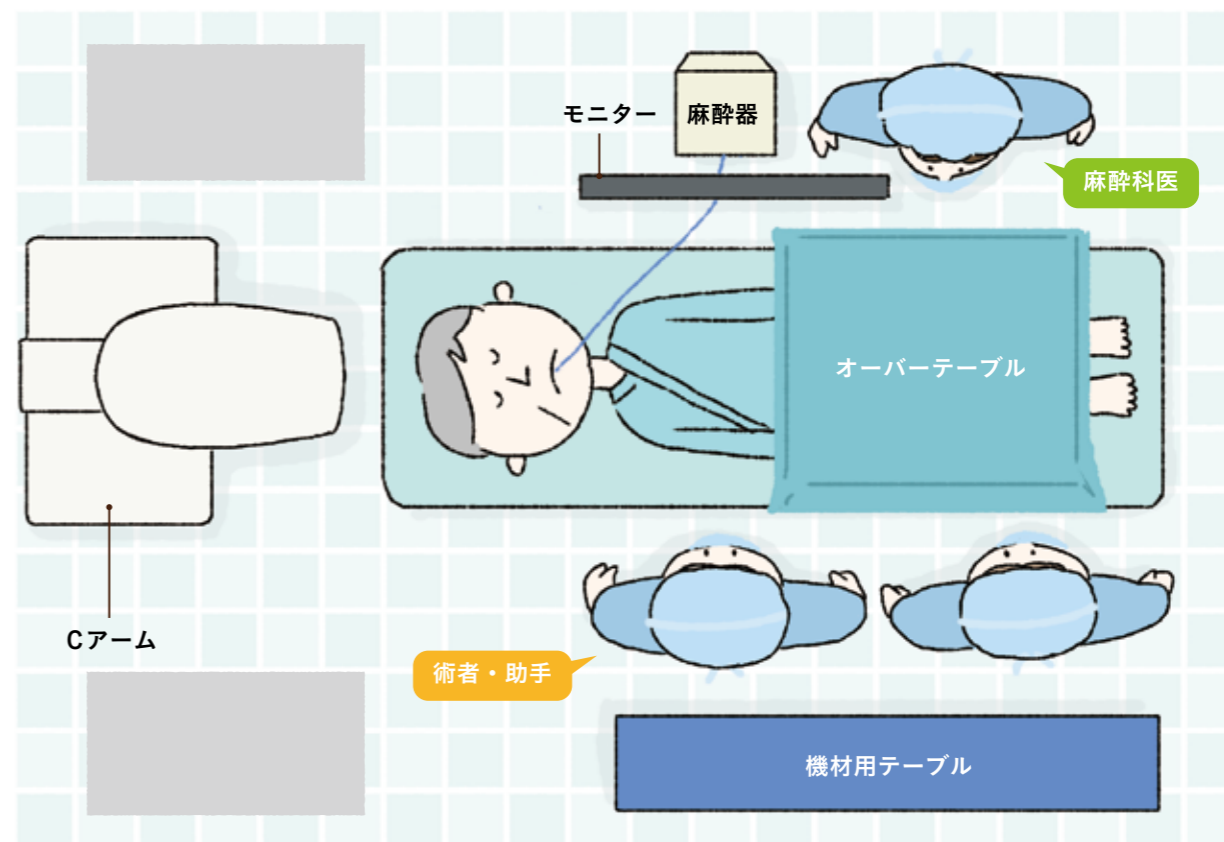


図1 脳血管内治療室のレイアウト例